

(社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第10回 LLW放射能評価分科会 (F10Ph2SC) 議事録 (

1. 日時 2008年11月19日(水) 13:30~14:30
2. 場所 日本原燃(株)東京事務所 第一会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 川上(主査), 岩崎(副主査), 片寄(幹事), 柏木, 黒澤, 佐々木, 宿谷, 市毛, 石川, 中島, 福村, 中山, 見上, 森本(14名)
(代理出席委員) 大間(田中代理), 三宅(中田代理), 杉山(渡邊代理)(3名)
(欠席委員) 高橋, 明里(2名)
(常時参加者) 浅野, 飯田, 五十嵐, 石川, 大塚, 尾崎, 林(北村代理), 三根, 村木, 山田, 福島(武部代理), 向原(12名)
(欠席常時参加者) 熊野, 能浦, 中野(3名)
(事務局) 谷井
4. 配布資料
F10Ph2SC10-1 第9回 LLW放射能評価分科会 (F10Ph2SC1) 議事録(案)
F10Ph2SC10-2 人事について
F10Ph2SC10-3 「余裕深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順(仮称)」(中間報告用 案)(標準本体/附属書/解説)
F10Ph2SC10-4 -1 【原子燃料サイクル専門部会 中間報告】「余裕深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順(案)」について
F10Ph2SC10-4-2 中間報告(概要)「余裕深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順(案)」
F10Ph2SC10-5 「LLW放射能評価分科会」の今後の予定について
F10Ph2SC10-参考-1 附属書における規定と参考の整理案(標準本体 5.2.1a) / 附属書B/附属書Cの比較 (F10Ph2SC9-6 修正)

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より, 開始時点で委員19名中, 代理委員を含めて17名の出席があり, 決議に必要な委員数(13名以上)を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録案の確認 (F10Ph2SC10-1)

前回議事録案について、事務局より事前に配布したものから変更は無い旨説明があり、承認された。

(3) 人事について (F10Ph2SC10-2)

①報告

事務局より、八木直人(原子力機構)様の常時参加者登録の解除の報告が行われた。

②承認

事務局より、武部 慎一(原子力機構)様の常時参加者登録の希望があるとの紹介が行われ、決議の結果、承認された。

(4) 標準本体、附属書と解説の各案の修正について (F10Ph2SC10-3)

片寄幹事より、前回分科会の結果及び分科会後に寄せられた委員等からのコメントを踏まえた本体、附属書と解説の各案における修正箇所の説明がなされ、了承された。

(5) 標準の中間報告用資料案について (F10Ph2SC10-4-1, 4-2, 参考-1)

本体、附属書と解説の各修正案が了承されたことから、F10Ph2SC10-4-1, 4-2, 参考-1に基き原子燃料サイクル専門部会(12/3開催予定)へ中間報告することについて、片寄幹事より説明があり、了承された。

(6) 分科会の今後の予定について (F10Ph2SC10-5)

片寄幹事より今後の予定について説明があり、次回分科会は中間報告へのコメント対応、間に合う場合には汚染評価の整理を踏まえて開催することです承された。

6. 次回の予定について

中間報告へのコメントの状況により平成21年2月頃に開催することとし、日時、場所は事務局にて後日調整することとした。

以上